

- アクトネル錠
- ダイドロネル錠
- フォサマック錠
- ベネット錠
- ボナロン
(錠・経口ゼリー・点滴静注)
- ボノテオ錠
- リカルボン錠
- ゾメタ点滴静注
- ボンビバ(静注・錠)
- リクラスト点滴静注液
- アレンドロン酸ナトリウム
(錠・点滴静注)
- ミノドロン酸錠
- リセドロン酸ナトリウム錠
- ゾレドロン酸点滴静注液
- パミドロン酸二Na点滴静注用
- その他

年 月 日から **ビスホスホネート系薬剤**
 年 月 日まで) を使用しています



歯科・口腔外科の先生方へ

患者さんはビスホスホネート系薬剤の治療を受けているか、治療を受けたことがあります。


- 顎骨壊死・顎骨骨髓炎があらわれることがあるので、抜歯等の侵襲的歯科処置はできるかぎり避けてください。
- 処方の変更や中止の可否を処方医にご相談ください。
- 異常を感じた場合すみやかに受診するようにご説明ください。
- 口腔内を清潔に保つよう、ご指導ください。

A000000037
2018年6月改訂

**歯科・口腔外科を受診する場合は
このカードをご提示ください**

**私はビスホスホネート系薬剤による
治療を受けています**

病院名・薬局名(連絡先)

 **これからこの薬剤で
治療される患者さんへ**



- 医師、歯科医師と相談の上、できるかぎり抜歯などの歯科治療は、この薬剤の治療を始める前に済ませてください。

 **この薬剤で治療中の患者さんへ**

- ブラッシングなどで口腔内を清潔に保ってください。

- 定期的な歯科検査を受けてください。

- 抜歯などの治療はできるかぎり避けるようにしてください。



- 下記の症状があらわれた場合は、医師、歯科医師、薬剤師などにご相談ください。

- あごの痛み
- 歯のゆるみ
- 歯ぐきの腫れ など